

【消費生活用製品安全法に基づくトヨタミからの報告】

■重大製品事故一覧

■重大製品事故一覧					更新日	2022年3月16日		(令和4年)	
管理番号	事故発生日		製品名	機種・型式	事故概要	公表日		被害状況	発生場所 〇〇県
A201200677	2012年12月1日	(平成24年)	石油ストーブ(開放式)	RC-296S	建物を全焼する火災が発生し、2名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品は焼損が著しく、使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	2012年12月18日	(平成24年)	火災:死亡2名	富山県
A201200747	2012年12月15日	(平成24年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-106	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。当該製品は、長期の使用(製造後約20年)により脱臭フィルタがアームから外れ、燃焼筒の上部にフタをする形で乗った状態で燃焼したために、燃焼筒及び芯調節器の温度上昇と異常燃焼が生じ、使用者が寝てしまったため出火に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「寝るとき消火を確認」、「正常燃焼の確認」、「燃焼中、脱臭フィルタが上部に上がっていることを確認する」旨、記載されている。	2013年1月8日	(平成25年)	火災	和歌山県